

平成29年度一般会計補正予算
2億3585万円を追加し

総額 **21.8億8665万円**

主な歳入

地方特例交付金	1066万円
地方交付税	8992万円
国庫補助金	1019万円
県補助金	466万円
基金繰入金	▲4億1140万円
繰越金	5億480万円
雑収入	960万円
市債	1712万円

主な歳出

電算システム整備事業費	
基幹系システムプログラム改修委託料	529万円
郷づくり推進事業費	
上西郷、郷づくり拠点整備工事設計監理委託料	561万円
地方創生事業費	
津屋崎千軒観光活性化事業計画策定委託料（豊村酒造に関わるもの）	1358万円
森林環境税事業費	
荒廃森林調査業務委託料	410万円

公園整備事業費

公園整備工事実施設計委託料（日新野12号公園、30年着工）

宗像地区事務組合負担金 500万円

宗像地区事務組合消防費負担金 873万円

事務局一般管理費
パナソニック(株)機材喪失損害賠償金 161万円

教育施設建設準備基金費
教育施設建設準備基金積立金（福岡小積立金） 1億8700万円

古墳公園建設事業費

古墳群清掃委託料 33万円

学校給食事業費
13年経過の冷凍庫購入、一次保管庫 68万円



津屋崎千軒の活性化を

世界遺産登録に伴い、
文化財課を設置

全員賛成で可決

福津市部設置条例を改正。新原・奴山古墳群が世界文化遺産に登録されたことに伴い、行政組織機構の一部を見直し世界遺産関連の事務を教育委員会に移管する条例改正議案。

借用機材の喪失で
損害賠償を決定

賛成多数で可決

パナソニック(株)主催のコンテンツに小中学生が参加するため、パナソニック(株)から借用した映像機材を横領され喪失による損害賠償を市が立て替える議案。

主な質疑

問 映像撮影の指導のため個人に貸与機材を横領されたが、貸

与に当たって、学校は契約書や適正な管理と処置がなされたのか。

答 個人を信用して契約は交わさなかった。指導に当たる活用時だけ貸与させ学校が保管し施錠すべきで反省している。

問 個人からの返済方法は。

答 迷惑をかけているパナソニック(株)への弁済が第一と考え、個人からの返済方法は顧問弁護士と相談し進める。
(総務文教委員会審査報告)



新しく設置された文化財課

小学校における水泳授業と新年度から 年間15時間増える英語授業を調査 更衣室や英語力向上のため改善が必要

福岡南小学校の更衣室は老朽化で使用できず、男女に分かれて教室で着替えている。教室とプールを移動するために更衣室の修繕が必要。

英語教育では、人的配置が不足との現場の声もあり、多忙な先生たちのスキルアップや、児童のコミュニケーション能力を高めるためにイングリッシュルーム・タブレット導入・海外交流など、教育環境の整備が必要。
(総務文教委員会所管事務調査)



小学校の英語授業風景

介護保険事業の見直しが進められている 中で、福津市の現状と課題を調査 市内の事業所を視察

介護保険は、介護を必要とする高齢者の自立支援を中心とした制度に改正された。成果主義報酬の導入も考えられている。各施設は、利用者の自立や重度化予防のため細やかな配慮や独自のアイデアを取り入れて積極的に対応している。独自の努力により成果を上げている事業所には、市独自で加算することも検討する必要があると思われる。

(市民福祉委員会所管事務調査)

都市計画の詳細と、廃棄物関連事業の 計画内容について調査

福岡都市計画区域が福岡広域都市計画区域に編入され、現状と今後について調査した。また、策定が義務化されている一般廃棄物の処理に関する第二次計画について調査をした。

都市計画について

都市計画を考える上で、土地の再利用、流動化を促進するとともに、人口密度の高い市街化地域を作るための規制緩和が望まれる。その際、災害・火災などの避難経路や消防等の進入路確保を誘引する施策となるように検討する事を求める。また、都市計画道路については検討を速やかに、地域の渋滞解消、生活道路への侵入を防ぎ、地域間の横断的な道路を確保するため、道路整備の着工を急ぐべきと考える。

廃棄物関連事業の計画策定について

第二次計画策定においては、災害廃棄物の発生における処理・対応が盛り込まれることになったが、過大計画とならない

(建設環境委員会所管事務調査)

よう広域連携による実現可能な計画となること、計画内容について、市民に十分な説明をすることを求める。国の通知による方針変更も行われているため、担当部署において細部の検討を毎年度ごとに行い、5年程度で中間見直しを行うようスケジュール検討すべきと考える。



一般廃棄物処理場